

ミックスドシグナルオシロスコープ
DLM2000 Series
Enhanced

ヒストリ機能 活用法



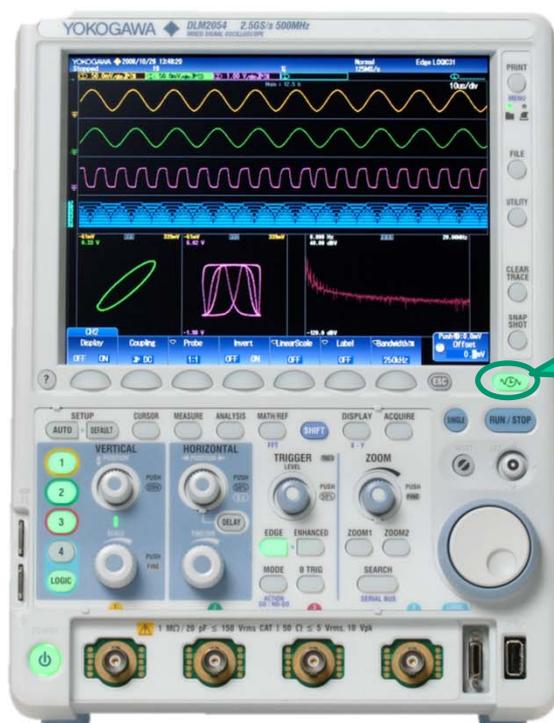
Precision Making

ヒストリ機能とは？

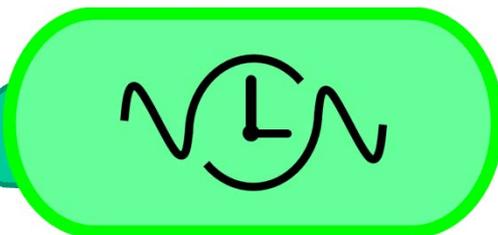
過去の波形を自動的に記憶する
YOKOGAWA独自の機能です。

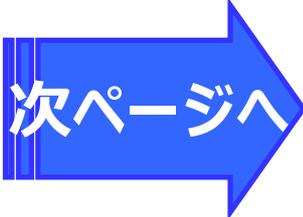
最大250Mポイント大容量メモリを活用。
過去に取り込んだ波形を最大50,000個*1、アキュジションメモリ
に保持できます。更新されてしまった波形でも再生可能。

だから、異常波形を見逃しません。



“ヒストリ機能”ボタン



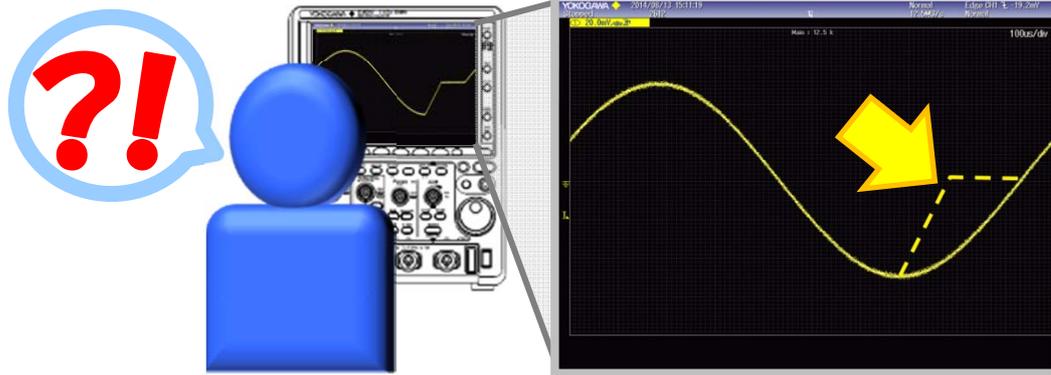
ヒストリ機能の
活用法は  次ページへ

*1：メモリ拡張オプション (/M3) 搭載時

たとえばこんな時・・・

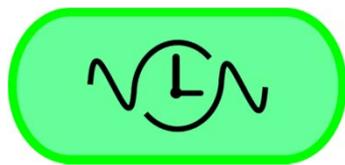


繰返し波形の測定中、想定外の異常波形を捉えました。



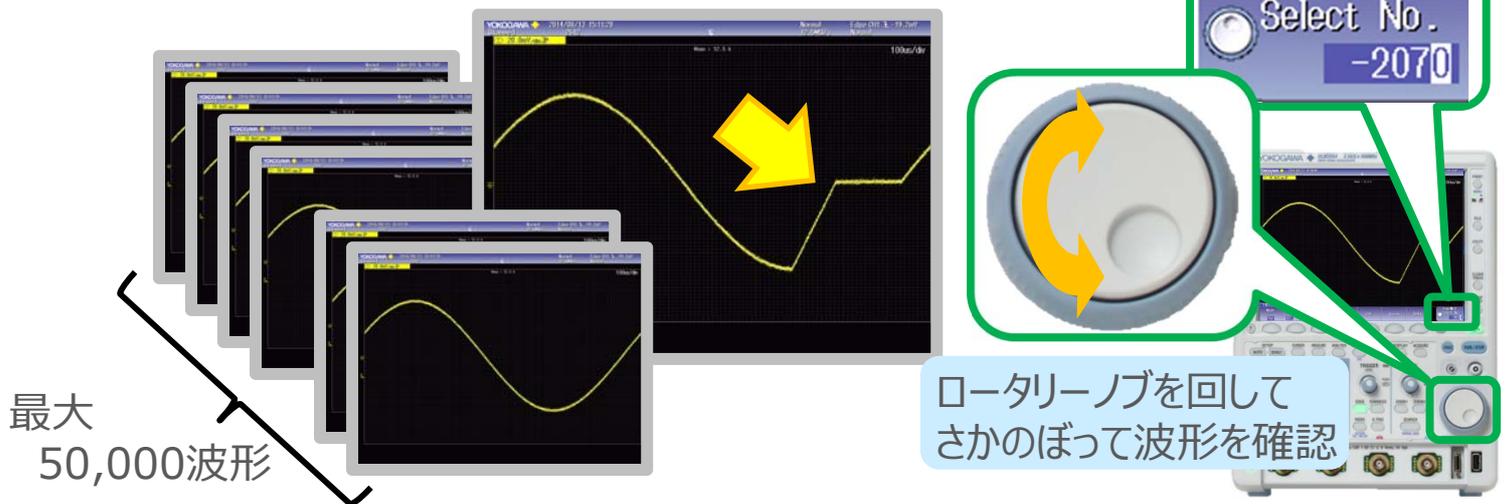
しかし、**一般的なオシロスコープ**では次のトリガで波形が更新され、異常波形を確認することができません。

でも “DLM2000Enhanced” なら



過去に取り込んだ波形を自動的にアキュジションメモリに保持しているため、“**ヒストリ機能**” ボタンを押すことで過去にさかのぼって波形を確認することができます。

“**ヒストリ機能**” を使用するために、事前に特別な設定をする必要ありません。

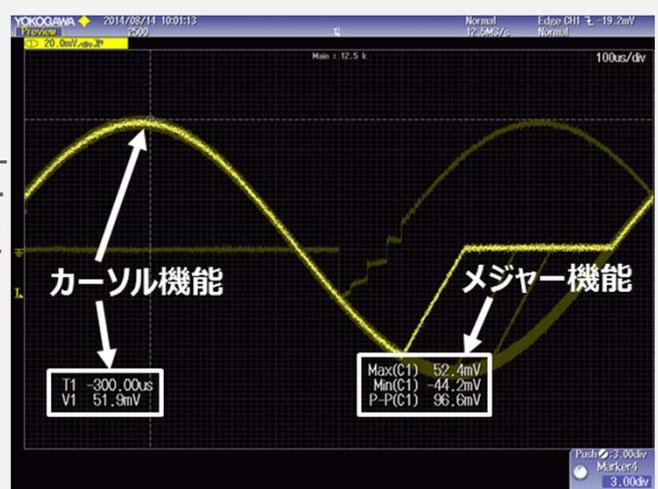


最大
50,000波形

“ヒストリ機能” なら

画像データではなく、波形（サンプリング）データを保持しているため、各波形に対してメジャー機能やカーソル機能を使用することができ、統計機能等の解析機能を使用することも可能です。

また、波形データを保存しパソコンでより詳細な解析を行うこともできます。



さらに便利に

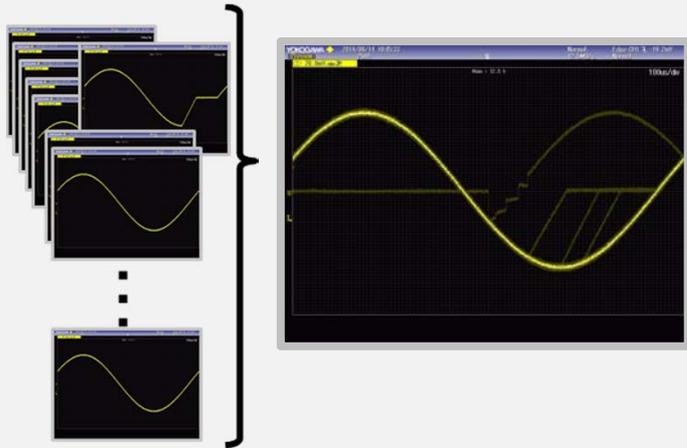
最大50,000個ものヒストリ波形の中から、目的の波形一つを探し出すのは非常に困難です。



“**ヒストリ機能**”には検索機能が用意されているので**簡単**に探し出すことができます。

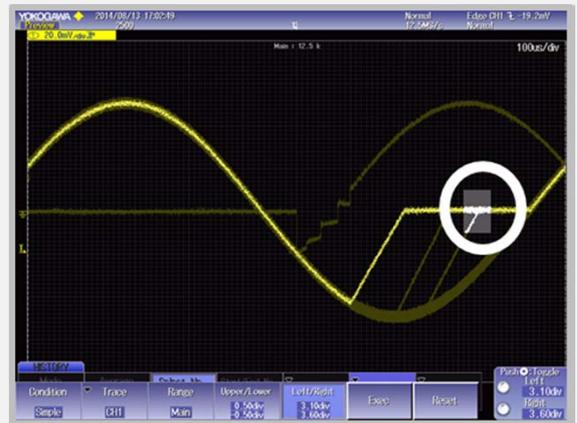
①全波形表示

保持している全ての波形を重ねて表示



②方形ゾーン検索

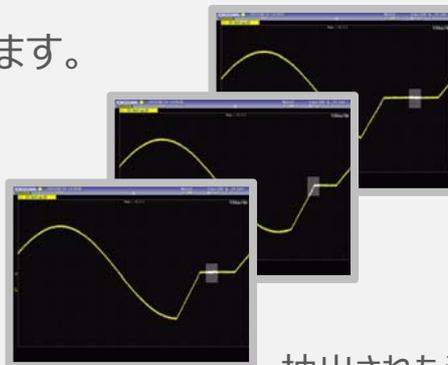
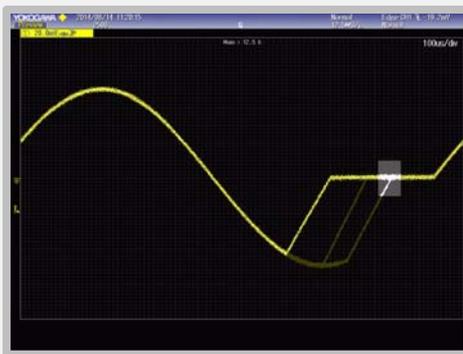
抽出したい波形がある場所に四角いゾーンを置く



検索実行

③検索結果表示

条件に合う波形のみが抽出されます。

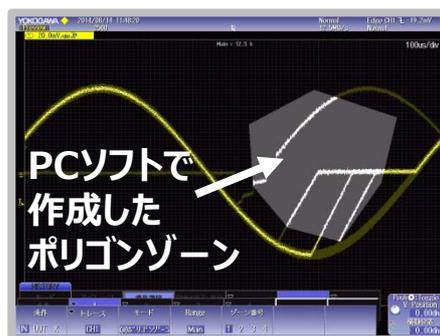


抽出された波形それぞれを単独で確認することができ、リスト表示することも可能です。

検索機能には方形ゾーンの外、様々な条件設定が用意されています。



■ 波形ゾーンサーチ



■ ポリゴンゾーンサーチ



■ 波形パラメータサーチ

こんな場面でも・・・



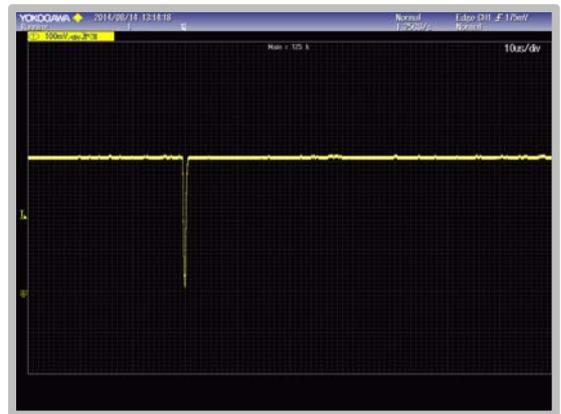
■ 安定してトリガがかからない

目的の波形以外でもトリガがかかってしまう。
複雑なトリガを使えばなんとかなるかもしれないが…
そんな時、シングル測定を繰り返していませんか？



“ヒストリ機能”なら

とりあえずエッジトリガで取り込んで、アキュイジションメモリに保持されている波形から目的の波形だけを取り出せます。



■ トラブル解析

一般的なオシロスコープでもアキュムレート（重ね書き）機能を使用することで異常波形の有無を視覚的に把握することはできますが、異常時の複数チャンネルのタイミング関係を確認することはできません。

“ヒストリ機能”なら

波形（サンプリング）データを保持しているので、それぞれの取り込み(トリガ)ごとにチャンネル間の関係を再現することができます。



■ アキュムレート表示



■ 1波形表示